



愛宕山から市街地遠望（足元に広瀬川の流れ）中央ののっぽビルは宮城学院跡に立つ30階建ての「SS30」その右が仙台駅前の「アエル」中央奥は東北電力本店ビルで場所は花京院・白百合高校跡地にたった。左端に住友ビル、市立病院跡、宮城県庁舎等の一群

ひさしぶりに見る仙台の風景  
いかがでした。しばしば「消えた街」に迷いこみながら駄文を連らねて15回おつきあいをいただいた。どこかで「だれか」に出会うことができたかな。あそこが見たい リクエストでもあれば、あるいは古い写真でも送ってもらえればと願わないでもなかったのだが「反響なし」ちびちびと垂れ流す年寄りのなにかといわれるまえにここで打ち止めとする。

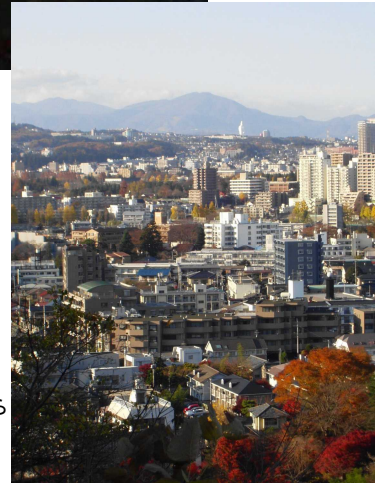
## せんだい寸景

NO15 2005年3月

発行：じっかい電脳事務局

是生滅法 千本杭

泉ヶ岳の姿(愛宕山からすぐ下は米ヶ袋)



この年齢になると時折おもうのは生きてるやつらより逝った連中の顔々。ふしぎにみんなむかしのままの顔だ。武田義郎の死の1年前のあの澄んだ眼差しが忘れられない。かおつきまで少年時代そのものだったっけ。シリーズに登場した往事の写真のほとんどが庄司豪さん(9回)の残したものだ。彼もまた平成14年1月4日かえらぬひととなった。

ひとり郷愁にふけりすぎた。お笑いあれ。さらば。



ひたしい数の杭を打ち、奔流から堤防を守る、この地を千本杭と呼ぶ所以だ。ここに座ると大きい風景が広がる。蔵王から泉岳までの山並み。中央近景には太白山。北には仙台市街地のビル群。河水はゆったりと海にむかう。海はすぐそこだ。川面に並ぶ杭は逝った人々の墓標とみえなくもない。近くに針生正男が眠る浄土真宗大谷派・徳照寺がある。境内のモミは平地には珍しい見事な大木だ。